

平成 30 年度 施策目標に関する市民意識調査報告書

(概要版)

平成 30 年 8 月

まちづくり政策局

1. 調査概要

調査対象：仙台市に居住する満 18 歳以上の男女 6,000 人（住民基本台帳より無作為抽出）

調査方法：無記名式の質問紙調査。郵送による配付・回収

調査期間：平成 30 年 5 月 18 日～平成 30 年 6 月 13 日

調査項目：仙台における住みやすさ、基本計画に基づく施策（8 分野 47 項目）の評価、力をいれるべき施策、未来に向けた仙台市のまちづくりについて など

有効回収数(率)：2,029 人（33.8%）

2. 調査結果

(1) 基本計画に基づく施策の進捗状況

① 「評価する+どちらかといえば評価する」（以下「評価する(計)」）の割合が高い上位 5 項目

- ・ 1 位は、昨年度と同様に、「仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり」であり、8 割を超える高い評価である。
- ・ 2 位は「ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり」（69.2%）。
- ・ 3 位は「市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり」（昨年度は 65.5% で 6 位）と「プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり」が同率 68.1% となった。

		平成 30 年度		平成 29 年度		
1位	文化・スポーツ	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	81.8%	文化・スポーツ	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	82.8%
2位	環境	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	69.2%	文化・スポーツ	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり	73.6%
3位	自然	市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり	68.1%	環境	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	71.7%
	文化・スポーツ	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり		安全安心	医療サービスや救急医療体制の充実	67.3%
5位	安全安心	医療サービスや救急医療体制の充実	67.4%	医療福祉	生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進	65.8%

② 「評価しない+どちらかといえば評価しない」（以下「評価しない(計)」）の割合が高い上位 5 項目

- ・ 「評価しない(計)」の 1 位は、昨年度と同様に、「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」（47.2%）であり、昨年度に比べ 12.6 ポイント減となったものの、引き続き評価は厳しいものである。また、同じく教育関連の「子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実」（28.5%）は、昨年度 3 位から 4 位となった。
- ・ 2 位は、「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」（36.3%）だが、「評価する(計)」では 52.3%（19 位）であり、評価が分かれるところである。

		平成 30 年度		平成 29 年度		
1位	教育	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	47.2%	教育	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	59.8%
2位	交通	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	36.3%	交通	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	36.5%
3位	男女共同	働く女性が個性と能力を發揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進	31.4%	教育	子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	34.8%
4位	教育	子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	28.5%	男女共同	働く女性が個性と能力を發揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進	33.5%
5位	産業	賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活気づくり	28.1%	産業	賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活気づくり	30.5%

③「今後、特に力をいれていくべき施策」の上位5項目

- ・ 1位の「介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり」（48.3%）は、昨年度とほぼ同水準の割合ではあるが、昨年度の2位から順位を上げている。
- ・ 2位の「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」（48.0%）は、昨年度の1位から順位を下げた（6.1ポイント減）ものの引き続き高い水準である。「評価しない（計）」においても1位である。
- ・ 3位の「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」（41.4%）は、「評価しない（計）」でも2位となっている。
- ・ 4位の「医療サービスや救急医療体制の充実」（39.0%）は、「評価する（計）」が67.4%と高い評価となっているため、評価は高いが引き続き力をいれていくべき施策といえる。
- ・ 5位の「大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり」（37.7%）は、昨年度4位から今年度5位と順位が下がったが、昨年度とほぼ同水準の割合であり、今後も引き続き力をいれていくべき施策である。

		平成 30 年度		平成 29 年度		
1位	高齢者	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	48.3%	教育	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	54.1%
2位	教育	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	48.0%	高齢者	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	49.2%
3位	交通	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	41.4%	交通	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	41.4%
4位	安全安心	医療サービスや救急医療体制の充実	39.0%	まちづくり	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	36.3%
5位	まちづくり	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	37.7%	安全安心	医療サービスや救急医療体制の充実	36.2%

④「今後、特に力をいれていくべき施策」の上位5項目（年齢層別）

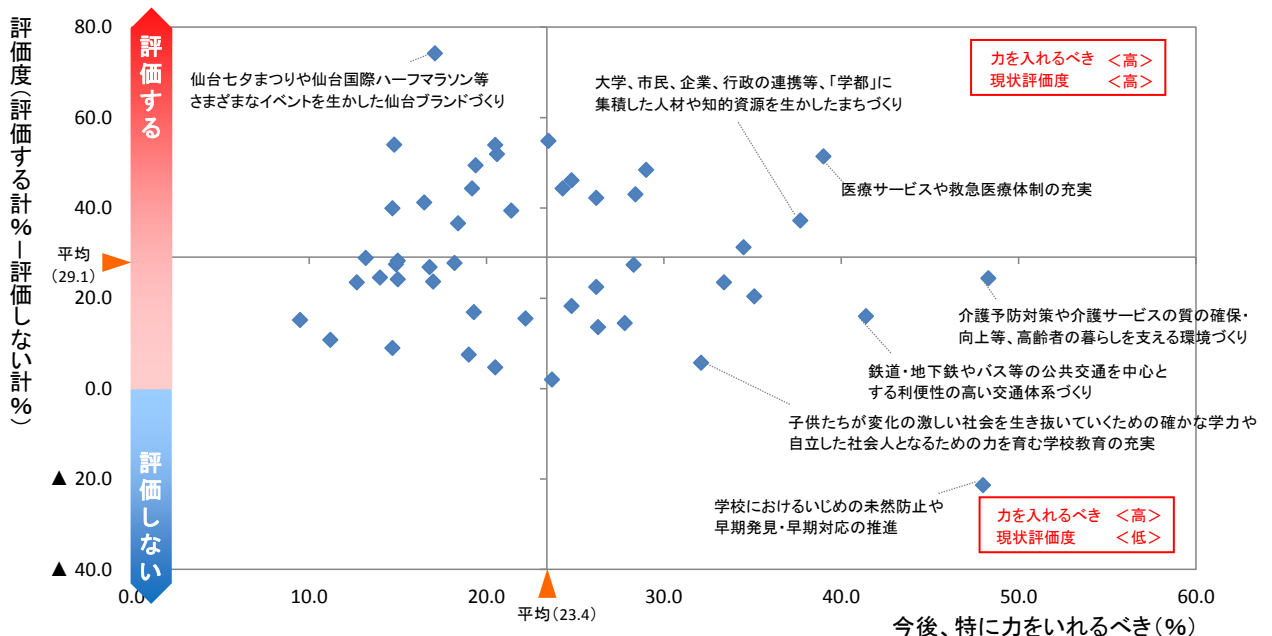
- ・年齢層別に見ると、50代以上では全体1位と同じく「介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり」が1位であるが、40代以下では「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」が1位である。
- ・また、30代の2位は「保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり」（全体では8位）。

（上段は各年齢層における順位、下段は%。カッコ内は全体値との差分）
※ 網掛け欄は全体の順位と各年齢層別の順位が一致する部分

			全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
全体1位	高齢者	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	48.3%	11位 29.0% (-19.3pt)	4位 42.1% (-6.2pt)	2位 48.8% (0.5pt)	1位 59.2% (10.9pt)	1位 54.8% (6.5pt)	1位 49.2% (0.9pt)	1位 40.2% (-8.1pt)
全体2位	教育	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	48.0%	1位 49.7% (1.7pt)	1位 59.5% (11.5pt)	1位 49.7% (1.7pt)	2位 50.8% (2.8pt)	2位 49.9% (1.9pt)	2位 44.1% (-3.9pt)	2位 31.3% (-16.9pt)
全体3位	交通	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	41.4%	2位 43.9% (2.5pt)	5位 40.5% (-0.9pt)	5位 40.9% (-0.5pt)	3位 49.5% (8.1pt)	3位 44.7% (3.3pt)	3位 37.9% (-3.5pt)	5位 29.3% (-12.1pt)
全体4位	安全安心	医療サービスや救急医療体制の充実	39.0%	5位 34.8% (-4.2pt)	3位 45.2% (6.2pt)	3位 41.8% (2.8pt)	4位 46.3% (7.3pt)	5位 42.1% (3.1pt)	8位 31.2% (-7.8pt)	6位 26.8% (-12.2pt)
全体5位	まちづくり	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	37.7%	4位 36.1% (-1.6pt)	7位 36.7% (-1.0pt)	6位 40.1% (2.4pt)	5位 43.1% (5.4pt)	6位 41.1% (3.4pt)	4位 37.0% (-0.7pt)	12位 23.2% (-14.5pt)

⑤施策に対する期待×現状評価マップ

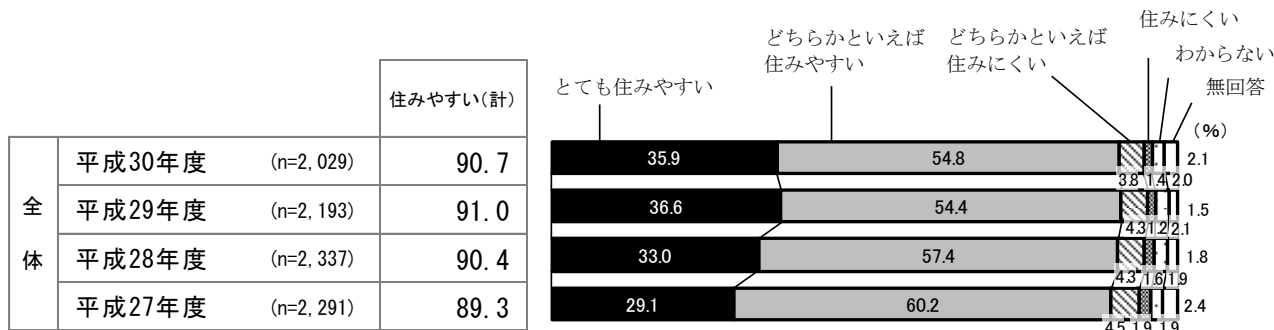
- ・横軸を「今後、特に力をいれていくべき施策」、縦軸を「評価度【評価する（計）－評価しない（計）】」として施策をマッピングすると、今後の取り組みに対する期待が高くかつ現状評価度が低い施策としては「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」などが位置している。



(2) 仙台市における住みやすさなど

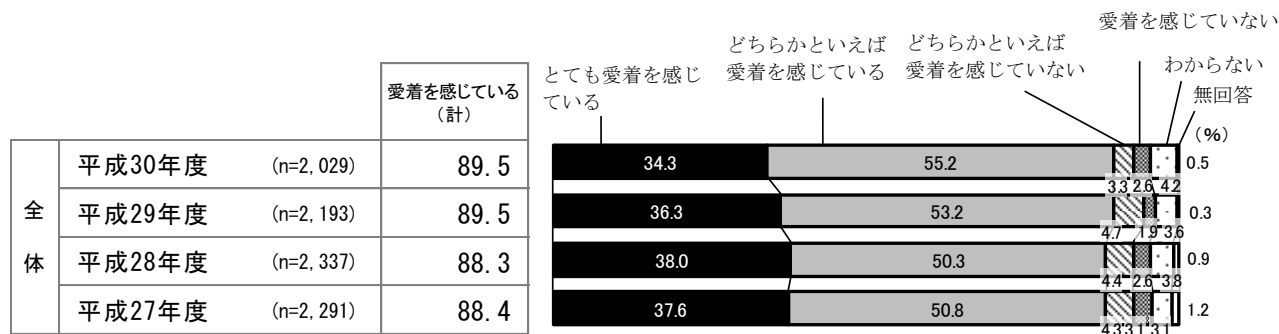
① 仙台市の住みやすさ「とても住みやすい+どちらかといえば住みやすい」(以下「住みやすい(計)」)

- ・「住みやすい(計)」の割合は90.7%と高い。
- ・経年比較で見ると、いずれも9割前後の高い評価となっており、特に大きな変化はない。



② 仙台市への愛着「とても愛着を感じている+どちらかといえば愛着を感じている」(以下「愛着を感じている(計)」)

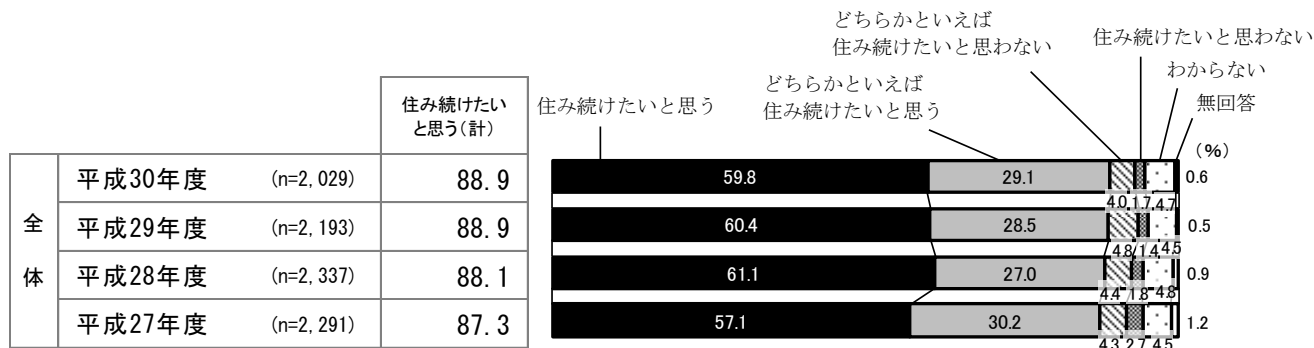
- ・「愛着を感じている(計)」の割合は89.5%と高い。
- ・経年比較で見ると、いずれも9割程度の高い評価となっており、特に大きな変化はない。



③ 今後の仙台市への居住意向「住み続けたいと思う+どちらかといえば住み続けたいと思う」(以下「住み続けたいと思う(計)」)

(以下「住み続けたいと思う(計)」)

- ・「住み続けたいと思う(計)」の割合は88.9%と高い。
- ・経年比較で見ると、いずれも9割程度の高い評価となっており、特に大きな変化はない。



平成30年度 施策目標に関する市民意識調査報告書(概要版)

仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号

TEL 022-214-1268